

## 人権イベント

11月11日から12月10日は「差別をなくす強調月間」です。

各会場で、人権作品の表彰や人権に関するさまざまなイベントを行いました。

上野会場では、松本サリン事件の犯人として疑われた河野義行さんが、「何気ない一言が冤罪に加担してしまう怖さを知って欲しい」と話しました。

伊賀会場では、近畿大学教授の輿田均さんが部落差別について「きびしい差別ほど、まわりの目を気にして外に現れてこないもの。そんな見えない差別に思いをはせて欲しい」と話しました。

島ヶ原会場では、金香百合さんが「自分自身を好きになる「自尊感情」を持ち、自分OK、あなたもOKと人それぞれの違いを認め、豊かに生きていこう」と話しました。

阿山会場では、大和太鼓「夢幻」が迫力ある和太鼓を演奏し、差別をなくすための熱いメッセージを伝えました。

大山田会場では、人権バンド「願児我楽夢」がいろいろな差別に苦しむ人の思いや訴えを歌いました。

青山会場では、市岡裕子さんが「良い時も悪い時もある。悪い所ばかり見ずに良い所を見よう」と話しました。

訪れた人たちは、それぞれに人権について考えるひとときとなりました。



## 伊賀上野シティマラソン

11月25日、恒例の伊賀上野シティマラソンを開催しました。

ハーフマラソン・10キロ・3キロのコースは伊賀市役所前から、ファミリージョギングは上野西小学校前からスタートし、1,815人が晩秋の伊賀路を駆け抜けました。

この日は雲ひとつないよく晴れた天気、参加者はさわやかな汗を流しながら、沿道からの声援に応えるように全力を出し切りました。

ゲストランナーの高石ともやさんも10キロのコースを完走し、ゴールした後も後続の走者にあたたかいエールを送っていました。



9cm

**広告募集中**

**本庁広聴広報課**

☎22-9636 FAX22-9617

✉kouchou@city.iga.lg.jp

5cm

## 平成の野寄り合い

11月23日(金・祝)に滋賀県甲賀市で伊賀甲賀忍者の里「平成の野寄り合い」が行われました。

このイベントは、新名神高速道路の開通記念イベントとして開催され、手裏剣打ち大会、綱引き大会が行われました。

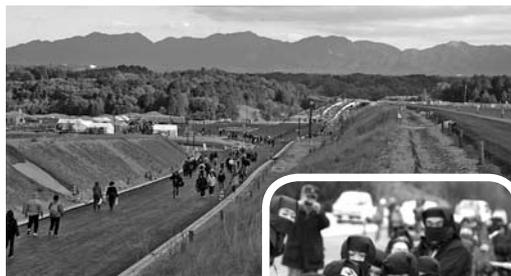
手裏剣打ち大会は、3月に伊賀上野 NINJA フェスタ 2007 のオープニングイベントで行われた対決の再戦です。



両市民から7人の選手が出場し、直径40cmの的を狙って手裏剣を打ちました。今回の対決では、甲賀市が勝利し、雪辱を果たしました。

綱引き対決では、甲賀忍者53家にちなみ、両市民から53人ずつ出場しました。綱引きは、場所を入れ替えて2戦行われ、伊賀市が2勝し、勝利しました。綱引きで勝利した伊賀市には、甲賀市から特別に作製された陣羽織が送られ、今岡市長が受け取りました。

綱引きは、場所を入れ替えて2戦行われ、伊賀市が2勝し、勝利しました。綱引きで勝利した伊賀市には、甲賀市から特別に作製された陣羽織が送られ、今岡市長が受け取りました。



## 協定 調印式

### 災害時における生活必需物資の供給応援に関する協定

11月29日、伊賀市役所秘書課応接室で、災害発生時において、迅速に被災住民の安全と生活の確保を図るために必要な生活関連物資を、上野卸商業団地連合会から供給応援を受けるため、伊賀市と名張市がそれぞれ連合会と協定を結ぶことになり、調印式を行いました。

今後地震や風水害などの災害で物資が必要になった



ときに、連合会に加盟する会員企業が保有している食料品や雑貨など生活関連物資の供給応援の要請を行うことができます。

### ゆめぼりす伊賀クリエイランドへの進出に伴う立地協定

12月7日、ウェルサンピア伊賀で、(株)スミロンがゆめぼりす伊賀クリエイランドに新工場を建設するにあたって立地協定調印式を行いました。

今岡市長は「ゆめが丘には、企業のニーズにあった研究を、大学の頭脳で専門的に進めていただくための三重大学伊賀研究拠点(仮称)を建設予定です。ぜひご活用いただきたい」とあいさつしました。

固く手を握り合う姿からは、行政と企業がともに地域を活性化しようという思いが感じられました。



## 厚生労働大臣表彰

母と子のよい歯のコンクールで市内在住の脇田直子さん、恵輔くん親子が厚生労働大臣表彰を受けました。

表彰は、全国約100万組の親子の中から選ばれた代表36組のうち6組が受けました。

直子さんは「皆さんが歯を大切に  
するきっかけに  
してもらえたら嬉しい」と白い歯を見せて笑顔で話しました。



## 総務大臣表彰

11月30日、総務省で平成19年度自治会等地縁による団体功労者表彰式が行われ、上野東忍町自治会長の中村修さんが総務大臣表彰を受けました。

中村さんは「偉大なる平凡を信条にし、関係者の方々の協力の下に毎日の地道な活動が評価され、このたびの総務大臣表彰を拝受し身に余る光栄です」と受賞の気持ちを語りました。

